

# ☆☆☆小野わかば幼稚園☆☆☆

## おのまちわかばたんけんたいの素敵な冒険

報告：郡山女子大学短期大学部幼児教育学科 柴田 卓

### ★第7回「冬の森を楽しもう」in 緑とのふれあいの森公園

最終回の第7回は、緑とのふれあいの森公園へ行きました。

昨年は、雪遊びを満喫したのですが、今年はまったく雪がありません。

しかも、子どもたちは雪遊びを楽しみにソリや段ボールを持ってきました。そこで、雪がなくてもソリで滑れるか実験してみることにしました。「スタート」のかけ声と同時に一斉に坂を登り始めます。雪のない斜面でも思いのほか滑ることができ、子どもたちは満足気。二人乗りに挑戦したり、高いところから滑ってみたりと試行錯誤しながら、遊びを創りあげて楽しんでいました。

ソリ遊びの後は、冬の森探検に出発です。

今回は、冬芽と動物の足跡を探しに行きます。暗い森の中を恐る恐る進んでいくと、日陰に残る雪を発見。その後も小さな冬芽や大小さまざまな動物の足跡を見つけ、景色の良い高台に到着です。汗だくになりながら「ヤッホー！」と大きな声で叫びました。険しい森の道も弱音を吐かず、転ばずに歩けるようになり、子どもたちの成長をあらためて実感することができました。



高台に到着！



マシュマロ焼きに挑戦

公園に戻ってからは、焚火とマシュマロ焼きに挑戦です。

ゆり組さんは、薪の組み方を真剣に聞き、自分たちで火をおこします。マッチにも挑戦しましたが、初めはまったく上手くいきません。何度も失敗しながらコツを発見すると、次第に煙が出はじめ、全部の焚火台で着火に成功することができました。その後、何個も丸焦げになりましたが、みんなでマシュマロを焚火で炙って食べました。苦労した分焼きマシュマロの味は、格別のようでした。最終回もまた、全身で小野町の自然と冬を満喫した1日となりました。

今年度のたんけんたいは、無事にすべて終了しました。

1年を振り返り、子どもたちは豊かな自然の中で、たくさんの心が動く経験を積み重ねていたように思います。

探検中に発見した草花や木の実、水遊びを楽しんだ夏井川、苦労してたどり着いた高柴山や諏訪神社、小野町の食材で作った豚汁とおにぎりなど、小野町の豊かな自然と歴史が子どもたちの大切な宝物になったのではないのでしょうか。



全員で記念写真